

# 地質ニュース

昭和 48 年 11 月

第 231 号

1973

四国路をゆく

地質学的にみた四国地方の観光地……………塚脇 祐次・1

三波川一みかぶ帯の緑色岩類

～その形式と変成作用～……………岩崎 正夫・19

四国に分布する“サヌカイト（讃岐岩）質安山岩”

について……………氏家 治・29

北四国の鉱物とその産状……………宮久 三郎・37

高知市北西部付近の地質構造……………河合 正虎・44

土佐の“ゲテモノ”と“イゴッソオ”……………甲藤 次郎・58

編集 地質調査所

表紙の写真

阿波の土柱（徳島県阿波郡阿波町）

徳島県阿波郡阿波町には 有名な阿波の土柱があって 徳島本線の穴吹駅に近い。これは 四国地方の北部に発達する和泉砂岩が風化分解して生じた砂礫層が、さらに浸食によって土柱を形成したものである。砂礫層の時代は洪積世といわれ 固結度が低い。緑の山麓に白い土柱が屏風状に連なる景観は一見に値する。

〔本文 5頁参照 文 石原舜三・撮影 正井義郎〕

発行 株式会社 実業公報社